

ポイント

◇◆特集◆◇

★『災害対策等緊急事業推進費』を活用した
再度災害防止・事故再発防止対策★
—第1回配分募集中（平成23年4月4日～5月10日）—
（国土交通省 国土計画局 調整課）

災害対策又は交通安全対策を目的とした事業について、年度内に迅速な対応が可能な「災害対策等緊急事業推進費」という予算制度があります。

本稿では、この制度を概説するとともに、活用事例の一部を紹介します。

◇◆道路占用Q&A◆◇

★ 地下埋設管の道路占用料の減免措置について★
（国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室）

地下埋設物件の道路占用料の減免措置について解説する。

◇◆TOPICS◆◇

★英・独における道路の利活用について★
小林雅哉（国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室）

英国、独国ともに市街地の非幹線道路に広告板等を設置させ、ビジネスチャンスを創出するとともに広告事業者から得られる道路利用の対価を貴重な独自財源としているが、手法には差異が見られる。建築物と道路との立体的利用は、両国とも既設道路の上空に建築物を設けることを道路法に基づく許可により可能としている。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★エゾシカ増加に伴う道路管理の現状について★

(北海道開発局 建設部 建設行政課)

北海道内においては、昭和から平成にかけてエゾシカの生息数が増加し、それに伴い、エゾシカに関する交通事故（ロードキル）も増加しており、その対策が重要となってきています。本稿では、北海道におけるエゾシカの現状と、ロードキル対策などの道路管理の状況についてご紹介します。

.....

★福岡県における道路の維持管理について★

～健全な道路ネットワークを後世へ！ 橋梁保全・更新、道路愛護～

(福岡県 県土整備部 道路維持課)

九州の北端に位置している福岡県は、国道、県道あわせて 402 路線、約 3,500km の道路を管理しています。橋梁については約 4,500 橋を管理しており、健全な道路ネットワークを維持し、後世へ引き継ぐためには「予防保全」の考えを取り入れた維持管理と計画的な更新を行わなければならないと考えています。また、良好な道路環境を維持するためには地域住民との「協働」が不可欠であると考えています。

.....

★柳川市の道路維持と伝統行事「城堀の水落ち」について★

(福岡県 柳川市 建設部 建設課)

本稿では一市二町合併後の柳川市道路維持体制についてご説明いたします。

また、本市では平成 23 年 2 月 20 日に藩政の時代から続く伝統行事「城堀の水落ち」に合わせて道と堀 クリーンアップ大作戦を行いました。そのご報告とご紹介をいたします。

◆◆編集後記◆◆

東日本大震災の影響から、今、東日本を中心に電力不足が生じています。そして、あらゆる分野において節電への取組みがされています。また、電力不足から生じうる突然の大規模停電を避けるために、首都圏を中心に計画停電（輪番停電）も実施されました。

震災直後、節電・停電に伴う店舗の営業時間の短縮や電車の本数制限など、街の光景が一変しました。今もなお、街のあらゆるところで看板や店舗の照明が控えられ、道路照明も減灯や消灯が行われており、また、駅や店舗などのエスカレーターやエレベーターの一部の運転が中止されています。

普段とは違う街の光景に、当初は戸惑いましたが、これまであたりまえに使っていた電気、その便利さをこの震災を通して改めて感じました。今の生活は、きっと震災前の生活ほど便利ではないのですが、通勤や外出にも慣れ、個人的にはさほどの不便さを感じなくなりました。

それぞれの分野では、たくさんのご苦労があると思いますが、このような有事の際に団結・協力するという意識がたちまち浸透し、節電に対する取組みが積極的にされたことに驚くとともに、感動を覚えました。そして、1人1人が意識高く協力をしていくことで、大きなチカラにつながることも知ることができました。

東北地方と日本の早期復興を祈り、私にできることを実践していこうと思います。(U)